ネチケット(ネット上のエチケット)：

- パートナーからのEメールには、できるだけ48時間以内に返信しましょう。
- テレタンデム授業は、実際に行う48時間前(2日前)までに計画しましょう。2日前あればパートナーはあなたからのメッセージを確実に読むことができます。
- **日本語／英語の時間を守りましょう。授業時間の半分は英語、半分は日本語**です。
- **責任をもって取り組んでください！ あなたは聖徳学園大学の生徒の代表としてテレタンデム授業を行います。**パートナーに敬意を払い、寛容に接してください。
- 可能ならば、WhatsApp/Line/FacebookなどのSNSアカウントを交換してもよいです。それらを使って、授業の打ち合わせやキャンセルの連絡をすることもできます。
- 授業をキャンセルしたい場合は、できる限り授業が始まる12時間前にパートナーに連絡しましょう。

テレタンデムで学習する利点：

- 授業で使う教材や、習い方、授業の速度をあなたが選ぶことができます。
- インターネットアクセスさえあれば、どこでも学習をすることができます。学習時間はあなたとパートナーの都合のいい時間に都度決めることができます。
- テレタンデムによって、あなたとパートナーはお互いの語学を学びあい一緒に成長することができます。

- コーディネータのアドバイスによって、さらに効率的な方法でお互いの語学学習を助けることができます。
- 違う国、文化圏に住んでいる人と友達になることができます。

Tele tandem!

テレタンデムとは、習いたい言語のネイティブまたはネイティブレベルの人とパートナーになり、Skype／Zoom／LINEなどを通して定期的に授業をして、お互いの語学学習を助けあうことです。

テレタンデムに参加する学生は、**週１回**、**２ヶ月間**を目標にテレタンデムを実施します。

上記のテレタンデム期間が終わった後も、仲良くなったパートナーと学習を続けたり、交流を続ける学生もいます。

授業の構成：

これは一般的な日本語／英語の45分間のテレタンデム授業のモデルです。

5分　先週自分がどのようなことを学んだか話します

15分　英語での授業
最後に自分の英語のフィードバックをしてもらいます

15分　日本語での授業
最後に相手の日本語のフィードバックを伝えます

5分　次の授業の打ち合わせ（いつ会うか、何をするか、どのような教材が必要かなどを話して決めます）

学習の記録を書くと役に立ちます。あなたの勉強プランをパートナーとシェアしましょう。

テレタンデム授業の時間をどう使うか：

たとえば次のようなことができます。

- フリートーク
- 教科書の音読を聞いてもらう
- 自分で書いた文章をパートナーに送り、添削してもらう
- ゲームをする (パートナーに20個質問してみるなど)
- スピーチ、プレゼンテーションの練習をする。

効果的なテレタンデム授業のために:

- パートナーが日本語を話しているときは、あなたのパートナーが**「何を」「どのように」**話したのか(文法、発音など)を注意して聞きましょう。そして必ず**フィードバックをしてあげてください。これは語学レッスンなのです。**
- 会話中には、**パートナーの文法、単語、発音の問題についてメモを取ってもいいです**(あなたのパートナーが望んでいることを優先的にしてあげましょう。話した全ての内容やミスについてメモを取ることはしなくてよいです)。

- あなたのパートナーの単語に問題があったとき(単語を知らない等)は、**すぐに**教えてあげましょう。
- パートナーの話の流れや、学習方法を遮らないようにしましょう。
- 特定のトピックを扱うときは気をつけましょう。パートナーを不快にさせることを話さないことです。会話中にパートナーが困っていたり、不愉快な思いをしているなと気づいたときは、すぐに話題を変えましょう。
- 「はい」または「いいえ」で答えられる質問をするのは避けましょう。多用すると、会話を制限してしまうからです。**オープンクエスチョン**(「はい」または「いいえ」で答えられない質問)を使うようにしましょう。